

原子力だより みやぎ 75

平成12年10月号

vol.

75

女川原子力発電所周辺の環境放射能及び 温排水調査結果のお知らせ	2 3
アトムのはなし	4
作品コーナー	5
わが町紹介	6
宮城の味・満喫	7
お知らせコーナー	7 8



おがつホタテまつり

と き 10月15日(日)
と ころ シーサイドふれあい広場
(雄勝海洋センター前特設広場)

今年で第5回目となる「おがつホタテまつり」は、県内一の生産量を誇る水産業の町「雄勝町」で開催されます。

当日は、約20tのホタテを用意し、格安で販売するほか、ホタテを使ったイベントも行います。そのひとつが写真のように豪快な「ホタテのつかみどり」です。そのほかにも、ホタテ釣りやホタテ貝むき競争なども行われます。

ホタテを使った料理の実演や紹介も行われますので、この日一日ホタテづくしで満喫ください。

女川原子力発電所周辺の

環境放射能及び温排水調査結果

(平成12年4月～6月)

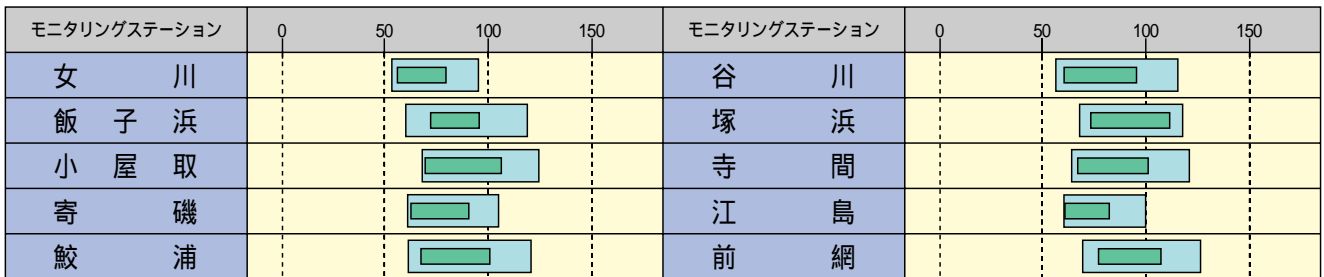
環境放射能

今期のモニタリングの結果、女川原子力発電所周辺の空間ガンマ線線量率の値と環境試料に含まれる放射性核種の濃度は、これまでとほぼ同じ値で推移しています。これらのモニタリング結果及び女川原子力発電所の運転状況等から、原子力発電所に起因すると考えられる放射線及び放射能の異常は認められませんでした。

[1] 電離箱測定器による空間ガンマ線線量率

今期の結果は、下図のように過去の測定値の範囲内であり、女川原子力発電所による影響は認められませんでした。

今期の測定値範囲
 平成2～11年度測定値範囲
 ナノグレイ/時



[2] 環境試料

各試料とも、ほぼ過去の測定値の範囲内であり、女川原子力発電所による影響は認められませんでした。

今期の測定値及び測定値範囲
 平成2～11年度測定値範囲

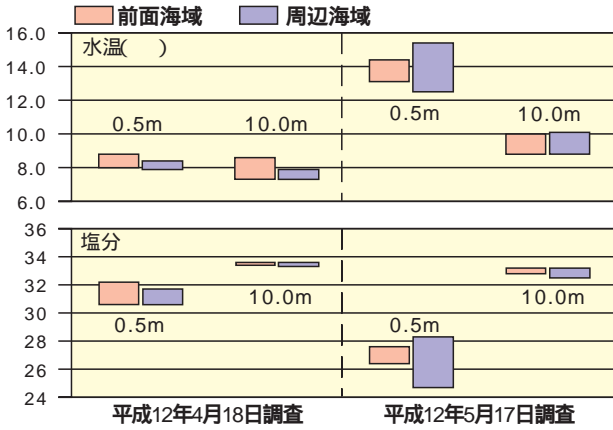
種別	試料名	核種	放射能測定結果							単位	試料数	採取月
			0.01	0.1	1	10	100	1,000				
月間降下物	雨水・ちり	Cs-137								ベクレル/平方メートル	9	4,5,6
	四半期間降下物	雨水・ちり	Cs-137								5	6
陸水	水道原水	H-3								ベクレル/リットル	1	6
陸土	未耕土	Cs-137								ベクレル/平方メートル	1	6
指標植物	松葉	Sr-90								ベクレル/キログラム生	1	6
	松葉	Cs-137									3	5,6
魚介類	あいなめ	Cs-137									1	5
海藻	わかめ	Sr-90									2	5
海水	表層水	Cs-137								ベクレル/リットル	4	4,5
海底土	表層土(砂)	Cs-137								ベクレル/キログラム乾土	4	4,5
指標海産物	あらめ	Cs-137								ベクレル/キログラム生	5	5
	むらさきがい	Cs-137									3	4,5,6

(核種H-3...トリチウム、Sr-90...ストロンチウム90、Cs-137...セシウム137といたします。)

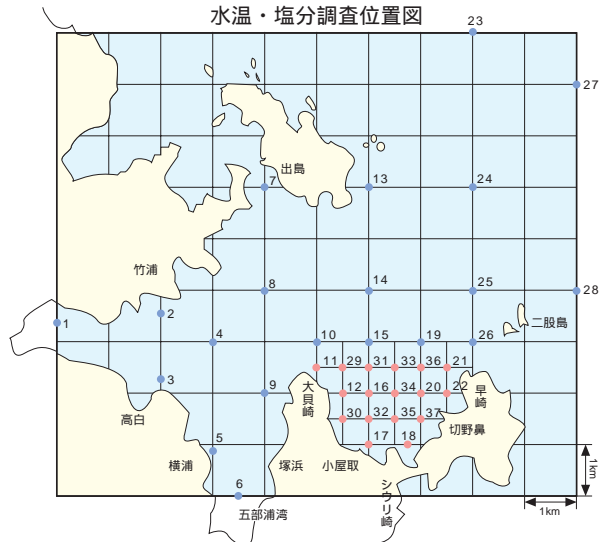
温排水

水温・塩分調査及び水温連続モニタリングから、女川原子力発電所の温排水によると考えられる異常な値は、観測されませんでした。

[1] 水温・塩分調査結果

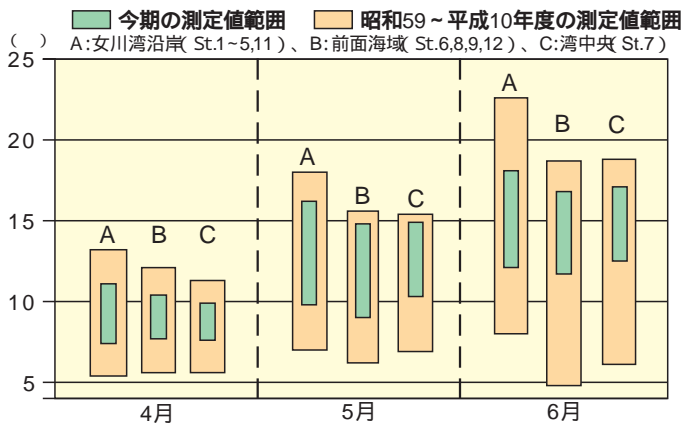


注1 前面海域とは大貝崎と早崎を結ぶ線の内側(調査点11,12,16,17,18,20,21,22,29-37)をいいます。
 注2 塩分は、近年、電気伝導度(電導度)を測定して求める方法が一般化し、新しい定義では表示単位はないが、従来の「海水1kg中に含まれる固形物質の全量をg数で表したも(旧塩分単位、‰)」に相当する値である。
 注3 0.5m、10.0mは、調査水深を表しています。

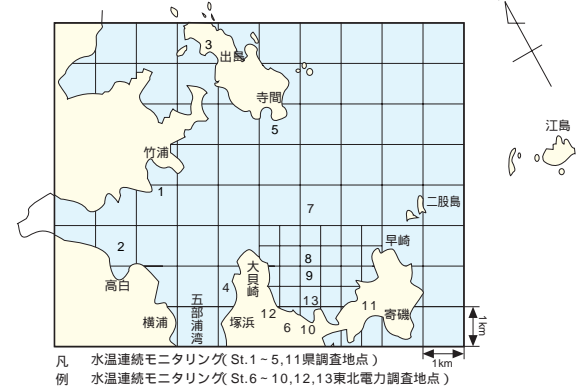


[2] 水温連続モニタリングによる水温調査結果

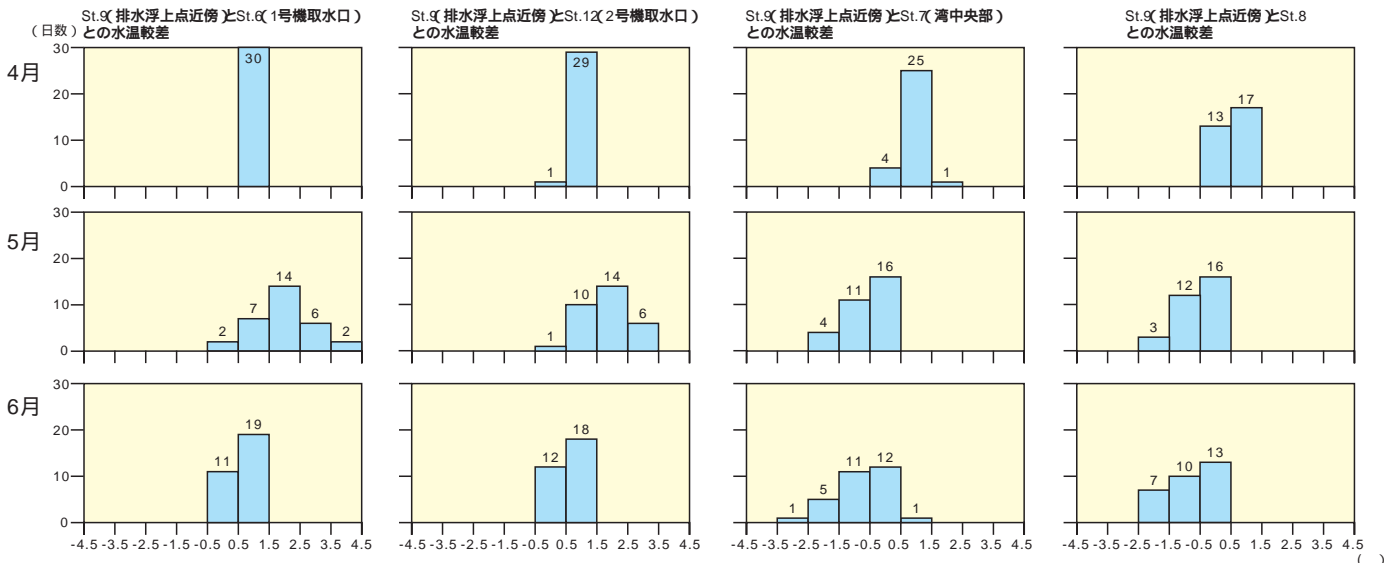
(イ) 水温測定値範囲



水温調査(モニタリング)位置図



(ロ) 測定点間の水温較差



オフサイトセンターについて

昨年9月30日に茨城県東海村で発生した国内初の臨界事故を教訓として、「原子力災害対策特別措置法」という法律が制定され、本年6月16日に施行されました。この法律では、原子力災害に対する対策の強化を図るものとして、国の緊急時対応体制の整備、国と地方自治体との連携等が定められています。

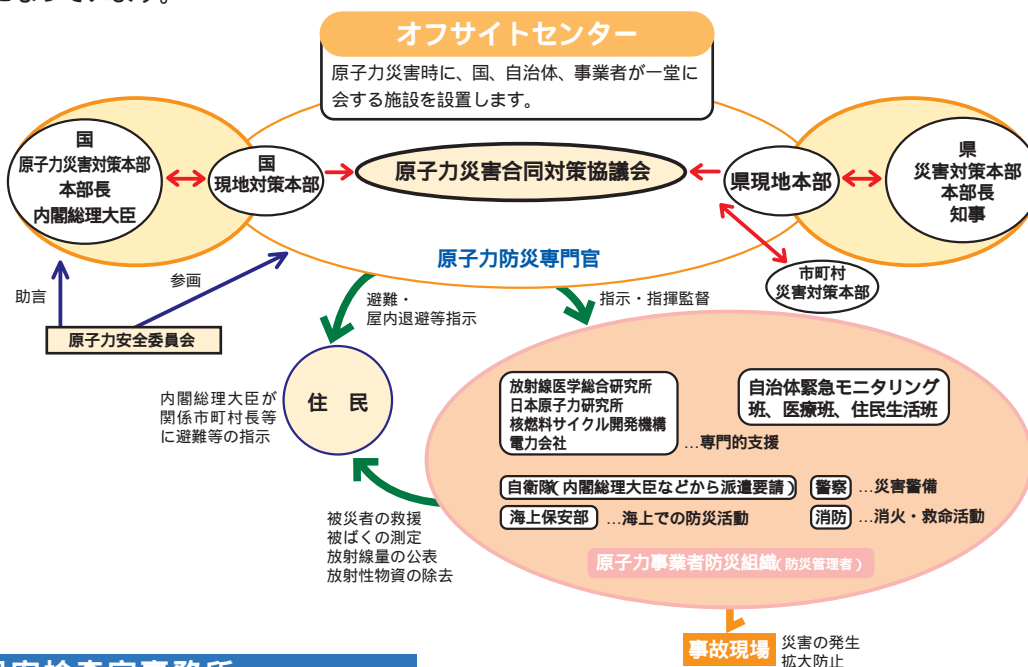
オフサイトセンター(緊急事態応急対策拠点施設)

オフサイトセンターは、現地において災害対策の拠点となる施設です。オフサイトセンター内の国の原子力保安検査官事務所には、平時から原子力防災専門官が常駐します。また、原子力緊急事態に至った場合には、国の原子力災害現地対策本部が設置され、通商産業省総括政務次官が本部長となって指揮をとります。県内では、女川町にある県原子力センター西側隣接地にオフサイトセンターの整備を進めているところですが、完成するまでの間は暫定的に原子力センターを使用することとしています。

なお、全国では、原子力事業所ごとに21ヶ所のオフサイトセンターが指定を受けています。

原子力災害合同対策協議会

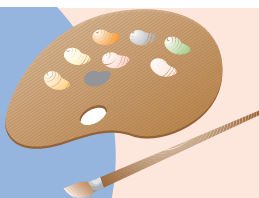
オフサイトセンターにおいては、国の原子力災害現地対策本部と県及び市町の災害対策本部の代表者で構成する、原子力災害合同対策協議会を組織します。合同対策協議会では、国、県、市町が行う災害応急対策について相互に協力するため、オフサイトセンターとそれぞれの災害対策本部とを結ぶテレビ会議システム等を活用して、現地における対応方針を決めることになっています。



原子力保安検査官事務所

原子力保安検査官事務所には、国の原子力保安検査官と原子力防災専門官が常駐します。保安検査官は、原子力発電所において保安検査を行う他、発電所の運転状況の監督や緊急時の通報連絡業務を行います。防災専門官は、原子力災害対策に関して、県、市町及び原子力事業者等に対する指導助言や連絡調整などを行い、中核的役割を担います。なお、女川原子力保安検査官事務所の皆さんについては、「お知らせコーナー」でご紹介しています。

作品コーナー



河北町立
今回は、飯野川第二小学校です。



『ザリガニ』
たけやま かける
1年 武山 翔さん



『ザリガニ』
たかはし しん たらう
2年 高橋 慎太郎さん



『パバーン!』
おいで ひろのぶ
3年 生出 潤長さん



『チャボの絵』
ちんま みほ
4年 門間 美穂さん



『窓から見える風景』
おきつ
5年 沖津 ななみさん



『2000年の校舎』
おいで たまみ
6年 生出 多真美さん

学校紹介

飯野川第二小学校は、山紫水明の里「河北町」に創立50年の伝統を持っています。現在は、児童数89名、教職員14名の小さな学校ですが、地域の人々に温かく見守られながら楽しく生活しています。新しいコンピュータと全面改装された体育館・校庭をぐるりと囲んでいる桜の木々が自慢です。



わが町

いしのまき
石巻市

紹介

石巻市

旬の賑わい「石巻ふれあい朝市」

「石巻ふれあい朝市」は4月から12月までの第1・第3日曜日、午前6時30分から8時30分まで、JR石巻駅前「にぎわい交流広場」で開催されています。早朝から多くの買い物客で賑わい、中には、待ちきれずに時間前に買い物を済ませる人も多々あります。

平成10年6月から始められたこの『朝市』は、新鮮で旬の品物が安価で買うことができるということで、毎回好評を博しています。また、旬の素材を使用した汁鍋の提供や餅つき等のイベントも随時行っています。皆さん是非、足を運んでみてください。10月15日は、「大漁まつり」のためお休みします。



安全で新鮮な野菜を食卓に

私達、石巻市農業協同組合女性部「菜花会」では、新鮮な野菜を提供できるように朝4時頃から収穫をして店頭並べています。安心して食卓に出せるように低農薬、有機栽培野菜作りに心がけ、勉強会も年3回くらい開いて、消費者のニーズに応えるようにしています。



来場者には大変喜ばれて1時間くらいで売り切れることも有ります。私たちが心を込めて作った野菜をどうぞ御賞味下さい。

来場者には大変喜ばれて1時間くらいで売り切れることも有ります。私たちが心を込めて作った野菜をどうぞ御賞味下さい。

石巻の産品の全てが揃う『朝市』



石巻ふれあい朝市
運営委員会委員長

松川 恵一さん 石巻地域の特産品を市民の皆さんに広く紹介すると共に、安く提供することを目的に開催した「石巻ふれあい朝市」も3年目を迎え、多くの皆さんに利用していただき、また、喜んでいただいていることに満足をしています。朝市には、魚介類を始め水産加工品・青果花卉・菓子類等が出展されており、石巻の産品が全て揃っていますので、みなさんも朝の散歩がてら遊びに来てください。今後も皆さんに喜ばれる産品を提供すると共に、この事業が石巻の産業活性化の一助となるよう、より一層内容を充実させていきたいと思っています。

宮城の味・猫喫



三陸沿岸の海の幸を食する 6

アイナメの焼き霜造り

藤倉馳走塾主宰 酒井 敬一



三陸沿岸はアイナメの宝庫と言っても過言ではない。当地方ではネウと呼ばれ、最もポピュラーな根魚の一つである。釣りの対象としても人気が高く、初心者にもよく釣れるので、初めて釣った魚がアイナメという方も多いはず。これから初冬にかけ、産卵のために接岸してくるので、防波堤からでも大型魚が狙える。釣り餌はエラコやアオイソメでも良いが、始めにリュウグウハゼ(縞模様のハゼ)を釣り、それを餌にした釣り方が近年ブームとなっている。

ご承知のように、アイナメは淡白な白身が身上で、どの様な料理にも適するが、尺上サイズの大物が釣れた時にはちょっと趣向を凝らした刺身に挑戦して頂きたい。

魚は皮が旨いのは今さら言うまでもないが、生では食べにくいので、刺身の場合は皮を引いてしまうことが多い。しかし、皮に熱湯をかけたマダイの松皮造りや

炎で炙ったカツオの土佐造りは皮の旨味も併せて堪能できる調理法としてよく知られている。アイナメの場合は後者の手法を用いて、モチモチとした皮の食感と香ばしさを楽しみたい。

鱗を落とし、三枚におろした身は小骨を抜いて、扇形に串を打つ。皮側を強火で炙り、薄く焦げ目が付いたら、直ちに氷水に放す。荒熱を取ったら、よく水気を拭き取り、ラップに包んで冷蔵庫で冷やし、皮と身を馴染ませる。通常の白身の刺身より厚めに切り、皿に盛り付けて、適宜のあしらいを添える。薬味は山葵でも良いが、おろし生姜もよく合う。

ついでだが、残ったアイナメの刺身は、胡麻醤油(摺った白胡麻を濃口醤油で溶いたもの)に漬け、ご飯に乗せて茶漬けにすると、刺身で一杯やった後の締めくりにうってつけである。是非、お試しあれ。

お知らせコーナー

航空自衛隊松島基地航空機の墜落事故について

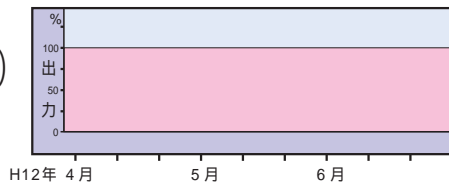
平成12年7月4日、牡鹿町山林にT-4型機ブルーインパルス2機が墜落し、搭乗していた3名の隊員の方が亡くなられました。心からご冥福をお祈りいたします。

松島基地所属の航空機については、去る3月22日にT-2型機が墜落する事故が発生したばかりであり、短期間に女川原子力発電所の周辺で事故が発生し、地域住民の皆さんに大きな不安を与えましたことは非常に残念なことです。

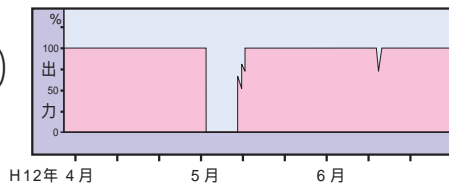
県、女川町及び牡鹿町は、7月6日に航空自衛隊松島基地司令に対し、7月11日には防衛庁長官に対して、訓練空域の見直しを含め、飛行訓練に係る安全の確保について要請をしました。

女川原子力発電所運転状況のお知らせ

1号機
電気出力
(524,000kw)
5/25
制御棒パターン調整



2号機
電気出力
(825,000kw)
5/2~5/8
中間停止
6/12~6/13
制御棒パターン調整



女川原子力発電所 2号機 定期検査の実施

9月10日から、女川原子力発電所2号機は、約3ヶ月間の予定で4回目の定期検査を実施しています。

平成12年4月~6月調査結果公表

(本誌P2~P3に掲載しています。)

8月25日、県と東北電力(株)が実施している環境放射能及び温排水調査結果が「女川原子力発電所環境保全監視協議会」の確認を得て公表されました。

通商産業省資源エネルギー庁 女川原子力保安検査官事務所 スタッフご紹介



佐藤 正明 統括原子力保安検査官

このたび4月21日付けで、女川原子力保安検査官事務所に統括原子力保安検査官として着任いたしました。

女川原子力保安検査官事務所では、従来からの原子力発電所の運転管理に関する業務等に加え、昨年東海村の加工施設で発生した我が国初の臨界事故を踏まえ、原子力発電所の安全性のなお一層の向上を図るため、原子炉設置者及びその従業者に対して保安規定の順守状況の検査並びに原子力防災業務に、現在4名で従事しています。

もとより微力ではありますが、全力を尽くす所存ですので、今後とも皆様のご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。



下山 善人 原子力保安検査官

4月から女川原子力保安検査官事務所に原子力保安検査官として赴任いたしました。

この3月まで(財)東北電気保安協会総合技術センターに勤務し、電気工作物の保守・管理など保安検査並びに新技術の開発関係に携わってまいりました。

一ヶ月の研修受講後、原子力発電所を実際に巡視して、電力の安定供給のため東北電力(株)の職員の方々の安全確保に対する努力を感じております。

今後は、保安検査官としてこれまでの経験を活かしつつ一層の精進を重ね、原子力発電所の運転管理・監督に全力を尽くしてまいりますので、宜しくお願い致します。



佐々木敏裕 原子力防災専門官

宮城県の皆さんこんにちは。原子力防災専門官として赴任した佐々木です。

私、実家が野蒜・本籍は塩釜・勤務先は仙台と、いままでは仙台線の中で動いてまいりましたが、このたび、縁あって、

石巻線までその行動範囲が大きく広がり、女川に勤務することとなりました。

6月3日付けで赴任以来、本来の仕事の一環である地元の皆さまとの対話に全力を傾注し、充実した毎日を送っております。

(※合気道を通じて互いの汗を交換し、バドミントンを通じてシャトル的となり、跡道において膝が笑うまで稽古すること)

なにしろ、全国でも初めての制度で、自分の歩いた後に道が出来るような仕事なため、何かと当人の気付かない所もあるかと思いますが、気持ちは120%の体制で職務に従事しておりますので、至らない点があればどうぞお気軽にご指摘下さい。



佐藤 和男 原子力保安検査官

8月1日付けで、原子力保安検査官として赴任いたしました。

原子力発電所の運転管理を行う原子力保安検査官として、地域と原子力発電との相互信頼の一助となりますよう全力で

尽くす所存です。

これまで、東北通産局において電源三法交付金、原子力業務を担当しており、女川町、牡鹿半島は何度も訪れてはいますが、やはり来ると住むとでは味わいが違うもので、新鮮な魚介類に恵まれた当地での生活を一住民として満喫しています。

久しぶりの单身生活ですので、健康管理に十分に留意しなければ駄目だと周りから言われておりますが、仙台の生活より女川の風土は余程健康に良いのではと思っております。

今後とも皆様の原子力保安行政のご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

あとがき

今年も、宮城県原子力センターの見学会を開催したところ、たくさんの方に参加をいただきました。その中で、夏休み親子見学会に参加いただいた富谷町の矢部京香さん(小学校3年生)から、感想文を頂きましたので紹介します。どうもありがとうございました。

また、10月26日は「原子力の日」です。この日を中心として県、女川町、牡鹿町などでは原子力施設の見学会などの記念行事を予定していますので、ぜひ御参加下さい。

詳しくは各機関まで、お問い合わせをお願いします。

by S.I

